

五條市名誉市民【追贈】



川 村 隆 (かわむら たかし) 様

昭和6年生まれ

経 歴 社団法人 日本児童文芸家協会会長（児童文学作家）
日本文藝家協会会員 日本ペンクラブ会員

事 績 五條市内の小学校教諭として子ども達に作文指導をする際、当時の日本には子どものための物語がないことに着目。自ら子どものための文学を書くことを決意され、その後、中学校、高等学校、奈良教育大学、梅花女子大学で教鞭をとりながら、児童文学の創作に熱心に取り組みられ、多くの著書を残されました。

日本の児童文学の先駆者として、その黎明期から今日までを導いてこられた功績は高く評価されています。

平成10年から、日本児童文芸家協会会長に就任され、児童文学が教育文化の礎であると唱えて、日本の児童文芸に関わる多くの人々の中心となって活動されました。

五條市の農家で生まれ育った経験から創作された「山へいく牛」は、路傍の石文学賞、国際アンデルセン賞優良作品賞など数多くの賞を受賞。奈良県十津川村から北海道新十津川町へ移住した人々を描いた「新十津川物語」は産経児童出版文化賞大賞のほか、多数の作品賞を受賞し、平成3年から4年にかけてNHKでドラマ化され、平成6年には北海道新十津川町に記念館が設立されました。

小学校の国語教科書にも収載されている「サーカスのライオン」は中国や韓国でも出版され、人形劇団クラルテによって全国で上演されています。

これら長年にわたる児童文学への貢献により、平成13年に紫綬褒章を受章され、平成22年には従五位旭日小綬章を受章されております。

（平成22年1月30日ご逝去）

称号追贈日 平成22年11月28日